

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定・中間報告・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和8年度策定)	1年間の目標	取組の内容		中間報告		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>・生徒一人ひとりの多様な学習歴や実態に応じた教育課程を編成し、基礎的・基本的な知識・技術の確実な定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを通して、課題解決に向けて粘り強く取り組む力を育成する。</p>	<p>①職員全体で研修や情報の共有を行い、組織的な授業改善及びICTを利用したわかりやすい授業の展開に取り組む。 ②普通科のカリキュラムについて、授業をすすめるが、より良いものとなるよう、改善をすすめて行く。 ③外国につながる生徒も多く入学し、日本語支援科目の授業や多文化共生の取組など、教育課程編成面からも充実したものとなるようにすすめる。</p>	<p>①授業を見に行こう週間、オンライン授業など本校独自の取組の意義を職員で共有し、研修や情報共有を行う。 ②次年度以降のカリキュラムの検討や、現在のカリキュラムの改善点を洗い出して、より良い教育課程編成ができるよう取組を図る。 ③日本語科目PTと、県からの支援などの連携を密にして、外国につながる生徒の日本語支援や学習支援、キャリア支援など、充実した学校生活を送れるような体制の構築を図る。</p>	<p>①授業を見に行こう週間の意義や取組みの成果について、職員全員で十分に共有することができたか。 ①オンライン授業や1人1台端末を使った授業を積極的に促す取組みができたか。 ②今年度からスタートしたカリキュラムについて、問題点を洗い出すことができたか。その問題点について具体的に改善をすすめることができたか。 ③外国につながる生徒の日本語サポート、学校生活全般やキャリア支援などにおいても、十分なサポートを行うことができたか。</p>					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>・基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成を図るとともに、多様な背景をもつ生徒一人ひとりを尊重し、安心して学び続けることができる環境を整えることで、自己肯定感や社会性を育成する。</p>	<p>①生徒の問題の未然防止、早期発見、早期対応に努め、生徒が安心して学びつづけることができよう、個に応じた支援をすすめる。 ②生徒が中心となって学校行事を企画・運営するための仕組みづくりを、生徒とともにすすめる。</p>	<p>①生徒が安心して学べる学校づくり、体制づくり、健康や生命に関わる問題を未然に防ぐことに資する取組を引き続きすすめる。生徒の多様な背景に目を向けた上で生徒個々に寄り添った支援を展開していく。 ②生徒主体の企画、運営のあり方を定着、継承させるための効果的な仕組みづくりについて生徒と教員とで対話、検討のうえ実行していく。</p>	<p>①生徒が安心して学べる学校づくり、体制づくりに資する取組、健康や生命に関わる問題を未然に防止する取組をより充実させるとともに、教育相談や関係機関等との連携で得た情報を共有することで問題の未然防止、早期発見・対応につなげることができたか。 ②生徒が中心となって行事を企画・運営するとともに、行事の企画運営の仕組みづくりに生かせるような知見を得て、継承することができたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (令和8年度策定)	1年間の目標	取組の内容		中間報告		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりが自己の適性や将来像を見据えて主体的に進路を選択できる力を育成し、社会的・職業的自立に向けた進路実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① キャリア教育の全体計画に基づき、LHRや進路ガイダンスを戦略的に連動させることで、生徒一人ひとりの適性を引き出し、志望進路の確実な実現を支援する。 ② 社会の形成者としての自覚を促すため、産業社会への理解を深める機会を創出し、職業観の醸成と社会人としてのマナー・倫理観の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「キャリア教育実践プログラム」の共通理解を深めるため、会議や研修等あらゆる機会を通じて、教職員間での継続的な情報共有と学外への発信を強化する。 ① 綾瀬市とのコンソーシアムや多角的な進路ガイダンスの実施により、生徒の職業的関心を喚起し、進路選択の主体性を確立させる。 ② 実社会に根ざした実践的なキャリア形成の質的向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育活動のあらゆる場を捉え、プログラムの意義を継続的かつ効果的に生徒へ周知できたか。 ① 進路ガイダンスや学内指導を効果的に接続し、生徒の進路探究に向けた主体的な関心を引き出せたか。 ② 実際の現場体験を通じて、礼儀や責任感といった社会人基礎力の必要性を生徒に深く認識させられたか。 					
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 地域や産業界との連携を通して、地域に開かれ信頼される学校づくりを推進するとともに、生徒が社会との関わりの中で学び、社会に参画しようとする意識を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 社会貢献活動を計画的に実施し、双方向の連携・協働を通じて、教育活動の質的向上と地域活力への寄与を目指す。 ② 中学生・保護者が必要な情報を取得できる広報体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域活動への参加を促すことで「社会に貢献する喜び」を体感させ、同時に企業との積極的な交流を通じて、未来を拓く職業観を育む。 ② ホームページ上で中学生や地域社会に積極的に情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 全校生徒を対象とした地域貢献活動の機会を創出し、計画通りに全生徒の参画を促すことができたか。 ② ホームページの更新頻度を向上させ、教育活動の可視化と適時情報提供できたか。 					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安心な教育環境を確保するとともに、透明性と信頼性の高い学校運営を実現し、教職員が協働して教育活動の質の向上に取り組む組織づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 信頼される学校づくりを目指し不祥事事故の防止に取り組む。 ② 災害時の防災安全意識と対応力を身に付ける。 ③ 職場環境や業務内容を見直し、業務の効率化を図り、教員の働き方改革につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎月不祥事防止研修会を職員会議前に行う。 ① 適正な私費会計処理に努め、事故防止の意識をもって業務を行う。 ② 災害時の身を守る教育を避難訓練等を通して、対応能力を身に付ける ③ Teams の活用と見える化をすすめ、業務の効率化につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎月不祥事防止研修会が実施できたか。 ① 私費会計が適正に処理されているか。 ② 避難訓練を計画的に実施し身を守る安全意識が向上したか。 ③ Teams の活用等により、会議時間が削減できたか。また、業務の効率化が図れたか。 					